

秋出しストックの栽培

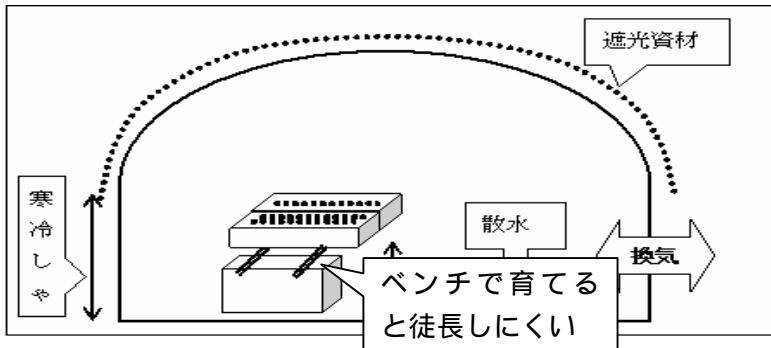
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	品種 雪波・朝波 風の舞 アイソシリーズ <スプレイ> カテットシリーズ		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上		中	下
春出し栽培	8/1 22日 8/23----- 8/10 22日 9/1----- 注) : 播種 : 定植 : 開花 *** 5 保温・加温-----収穫終了まで												

栽培のポイント

- ・ストックは八重と一重が混ざっており、おおむね半分が八重。
- ・通常は八重が好まれるため、育苗中に八重鑑別を行い、八重株を残して定植する。
- ・コナガがつきやすいので防除を徹底する。
- ・冬季間の菌核病、灰色かび病など病害の発生予防。
- ・最低温度5 と日中20 以下の確保。

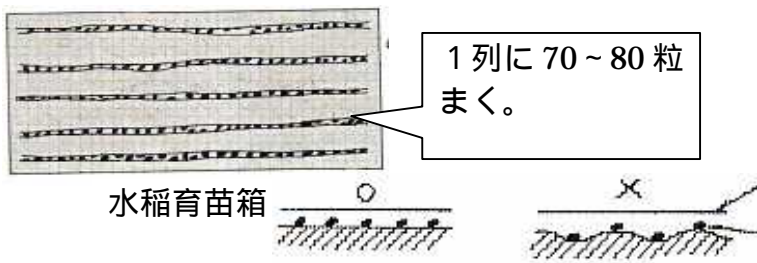


1 育苗



<は種>

- ・用土は水はけが良いものを用いる。市販の育苗用土にパーミキュライト等を混ぜても良い。
- ・は種床を均一にならしては種する。覆土は5mm前後。
- ・八重鑑別で1/4程度に間引くので多めには種する。



<温度管理>

発芽適温：20～25 (暑いと発芽不良)
 発芽日数：3日
 ハウス換気の徹底：通風良くして涼しく管理
 遮光：は種後10日程度。温度低下、乾燥防止のため

<水管理>

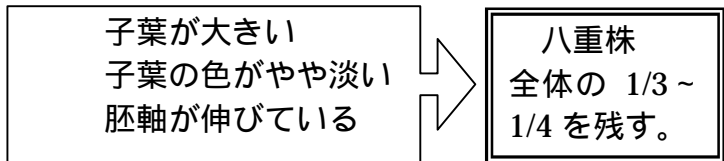
- ・は種～発芽：乾かさないようにかん水。
- ・子葉展開～定植：晴天時は1日1～2回かん水。夕方には地表面が乾く程度。条間にかん水する。

<育苗時の追肥>

葉色が淡い場合、八重鑑別後に液肥で追肥。
 (例：液肥2号 1000倍 (N-100ppm))

2 八重鑑別

- <1回目> 予備鑑別
発芽揃い頃、発芽が遅れたものを間引く。
- <2回目> 本鑑別
は種12～14日後。本葉が見え始める頃。



少し徒長したような苗

3 定植

- ・栽植密度 条間15cm×株間13cm、6～8条植え。



- ・できるだけ根をつけて、根を丸め込まないように定植。
- ・定植後十分にかん水し、活着まではかん水を控える。しおれるようなら朝晩の涼しい時間に軽く散水する。
- ・活着したら遮光は夕方にはずす。
- ・活着後は十分にかん水する。 施肥例(100坪あたり)

基肥	堆肥	500～700kg
	MMB 複合燐加安	30kg
	BM ようりん	10kg
	苦土石灰	20kg
追肥	有機&Iト	10～20kg

4 定植後の管理

<追肥>

定植2～3週間後ころ10坪あたり1～2kg追肥し、条間を軽く中耕する。

<フワネットの設置>

15cm×15cmのネットを設置する。(定植時でも良い)

<水管理>

- ・活着～発らい前：十分にかん水し、草丈確保。
- ・水切り：発らいを始めたらかん水は中止し、乾かす。冬季間乾きすぎると晴れた日に軽くかん水する

<温度管理> 最低温度の管理目標：3～5

外気温が11月下旬から保温を開始する。
 カーテン・トンネルを用いて凍らないように保温する。
 凍らないようなら換気を十分に行う。

<その他>

スプレイの品種は頂花を摘心する。

5 病虫害防除

コナガ、ハモグリバエなどに注意。

